

委員会レポート

総務委員会

職員の給与に関する条例及び職員
の勤務時間、休暇等に関する
条例の改正について

Q 平成21年度の勤務実態は。

A 60時間を超える時間残業が、21年度に増加したのは、定額給付金と市長選及び衆議院選挙があったためである。

火災予防条例の改正について

Q カラオケと漫画喫茶についての今後の動向は。

A 利用客も多くなるともあり、それほど増えないう。

一般会計補正予算について

Q 地域活性化・きめ細かな臨時交付金について、事業選定の経緯、事業前倒しによる浮いた財源の平成22年度予算での考え方は。

代表は毎年変わるが他の16名のメンバーは変わっていない。

Q 庁舎建設基本計画策定委託料の業務内容は。

A 基本的な考え方を整理し、計画人口や配置する職員数、議員数等の前提条件を整理した後、新庁舎の

文教福祉委員会

体育館の設置及び管理に
関する条例等の改正について

Q 要綱についてどのように検討しているのか。

A 計画の段階で、相手から審査のために提出された資料をより詳細な資料とし、業者からの提案、民間ノウハウを体育館利用についての考え方も求めたい。

一般会計補正予算について

Q 保育所運営委託料1千667万8千円の減額の内容と受託園児は何人か。

規模、構成、有する機能等を整理し、敷地の利用計画、配置計画、建築スケジュールと想定事業費の比較を検討する。計画の策定は22年度である。

当委員会に付託を受けた陳情で採択されたものは次のとおりです。

・永住外国人への地方参政権付与法に反対の意見書の提出を求める陳情

A 受託園児の減によるもので、当初22名を見込んでいた。
1月末現在の受託園児は197名。

平成22年度

一般会計予算について

Q 子ども手当給付費事務的経費は。

A システム経費として全額国庫補助金。通常の事務的経費も、国の試算で960万円程。通常の人件費あるいは事務的経費をもちえる。

Q 幼稚園費の教育振興費補助金

A 総代の代表4名、高齢者の代表8名、女性の代表4名、市民の代表4名、合計20名で構成し、総代の

Q 巡回バスの運行検討委員会のメンバーは。

平成22年度
一般会計予算について

事業の前倒しにより浮いた財源の活用は、22年度は大型プロジェクト事業の実施が始まる年度であり、予算規模を少しでも圧縮したいと財政課は考えていたため、浮いた財源で新たな事業を上乗せする考え方は持っていない。

A 本年1月に国から示された要綱に沿って、非常に短期間で事業選定をする必要があった。要綱に該当する事業として、公共施設等の建設・修繕から、各担当課が速やかに実施できる事業であり、22年度当初予算に予定していた事業で、本市の一般財源で対応しなければならぬ事業を、交付金充当限度額を超える分まで選定した。